

台風・大雨から命を守るために

～日頃の「備え」があなたと家族の未来を救います～

これからの時季は梅雨前線の発生や台風の接近の影響で、線状降水帯などによる大雨、洪水、暴風による自然災害が発生しやすい季節となります。

この季節に取り組むべき「備え」を確認し、実践しましょう。



早めの避難行動を心がけましょう

1. 避難場所の事前確認

災害が起きてから避難先を探すのは非常に危険です。事前に避難先を確認しておきましょう。

- 安全な親戚・知人宅、ホテルへの避難
- 車中避難（家族のみ、少人数かつ短期間に限る）
- 各地区の避難所

2. 家の周りの安全点検

風雨が強くなる前に、家の周りの点検・片づけを完了させましょう。

- 側溝、排水溝の掃除（詰まりの解消）
- 飛ばされやすい物の固定、屋内への取り込み
- 窓ガラスの補強（飛散防止フィルムの活用）

情報の収集手段を確保しましょう

市では、郡上市メール配信サービス、ホームページなどで市の災害情報を発信しています。テレビやラジオなどで放送される気象情報と併せて活用しましょう。

郡上市メール配信サービス

スマートフォン等のメール機能を利用して、自然災害などの防災情報をはじめ、道路情報、公共交通情報などを市民のみなさんに配信しています。

登録は簡単ですので、ぜひご利用ください。



市ホームページ防災情報

大雨や台風などの災害に関する情報を、市ホームページから確認することができます。また、同サイトから気象庁や電力会社の停電情報などの外部サイトへもアクセス可能です。



ハザードマップ

洪水ハザードマップ

市では、岐阜県が公表した「洪水浸水想定区域図」および「水害危険情報図」に基づき、河川毎に洪水ハザードマップを令和4年5月に作成し全戸に配布しました。洪水ハザードマップは、50年～100年に1回程度発生する大雨を想定した「L1版」と、1,000年に1回程度発生する大雨（想定最大規模）を想定した「L2版」の2種類があります。



平成30年7月
豪雨による洪水

土砂災害ハザードマップ

市では、岐阜県が指定した「土砂災害警戒区域」および「土砂災害特別警戒区域」に基づき、自治会毎に土砂災害ハザードマップを作成しています。

土砂災害ハザードマップは、岐阜県が行う調査により順次更新しています。

※土砂災害ハザードマップには、土砂災害警戒区域（イエローゾーン：生命・身体の危害が生ずる恐れがある地域）と、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン：建物が損壊し、生命・身体に著しい危害が生ずる恐れがある地域）が示されています。

自分のお住まいがイエローゾーン、レッドゾーンに入っていないか確認してみてください。



土砂災害から身を守るために

前兆現象を知り、一刻も早い避難を

見逃さないで！土砂災害の「前兆現象」

大雨が続いている時、以下のような現象に気づいたら、すぐに安全な場所へ避難してください！

種類	前ぶれ現象	実際の被害写真	
土石流	<ul style="list-style-type: none"> 山鳴りがする。 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。 腐った臭いがする。 立木の裂ける音や石のぶつかり合う音がする。 		
がけ崩れ	<ul style="list-style-type: none"> がけにひび割れができる。 小石がパラパラと落ちてくる。 湧水が止まる。 地鳴りがする。 		
地すべり	<ul style="list-style-type: none"> 地面がひび割れ、陥没する。 がけや斜面から水が湧き出す。 地鳴り、山鳴りがする。 樹木が傾く。 		

5月から気象の警報などが大きく変わりました

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

これまで対応が複雑でわかりにくかった防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）が、5段階の警戒レベルに統一して発表されます。

警戒レベル4 避難指示や警戒レベル3 高齢者等避難が発令された際には速やかに避難行動をとってください。また、避難指示等が発令されていなくても、警戒レベル4 や警戒レベル3 に相当する防災気象情報が発表された際には、キキクルや河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。

なお、上記以外の特別警報・警報・注意報は、これまでと変わりません。
詳しくは、気象庁ホームページをご確認ください。



問 防災安全課 67-1832